



企業の振り分け

令和7年12月24日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

未来という現実が与える企業の振り分けは、その先端性、すなわち、技術とシステムにおける企業への評価を得、時代というフィルターにおける企業の振り分けを与える。

これらは現実における企業への考査が与えられることであり、未来という新たな要求における企業の選別が存在するものである。

これらは留意して現実を考察するとき、未来における現実の要求が今日全ての企業への新たな判断を与えていることを理解できるものである。

これらは未来においても経済という生産性は、世界の基盤であり、自由経済システムの下経済がその自由な経済活動を行うことに対して、それら未来という新たな現実が個々の企業への新たな基準における評価を有することは今日現実として理解できるものである。

これらは企業における正しい理解と新たな指針であり、未来という現実への参加を求めるとき、全く新しい要求が存在することを理解できるものである。

これらは企業の構築の完成を要求するものであることは、未来という現実とルールに準じた企業の確立が必要とされるものであると理解できるものである。

これらは既存世界の現実から離れ、新たな未来への移行を模索する中、企業経営における正しい指針と視点であると判断できるものである。

これらが時代性に準じた企業の確立を企業が今日模索するものであり、それらは新たなルールと基準における企業の確立を求められるものである。

これらは未来という現実への到達は、今日の現実の革命的变化が与える結果であり、その変化が新たな要求性を与えることは必ず理解できるものである。

これら新たな経営の視点は、正しい企業経営の実現を与えるものであり、現実そのものがそれら要求を有することで理解できるはずである。